



2021年度 藤沢白門会の活動



会長挨拶

ポストコロナに向けて

25周年（令和2年）に続き昨年も、新型コロナウイルスによる感染の影響で、会の活動は何もできない状況となってしまいました。皆様におかれましてはお変わりなくお元気にお過ごしのことと存じます。

さて、今回の会報26号については、継続性を考慮すれば従来通り「冊子」型で作成することが当然かもしれませんが、こういうコロナ禍の中、活動がほとんどできないことを考え、止むを得ず「タブロイド」版の選択に至りましたことをご理解いただきたいと存じます。

規約第2条にある「会員相互の親睦交流を図ること」に関わる行事などは実施できませんでした。また会の運営について、今までは概ね月に1回程度幹事会で議論してきたのですが、開催自体が難しくかつたため「オンライン会議」を数回開催し何とか方向付けをすることができました。

「母校の発展興隆に寄与すること」では、昨年の定期総会（書面審議）で承認された母校への寄付（50万円）を実施しました。また「地元の発展に寄与すること」では、従来通り車椅子を2台寄贈しました。

次に母校関係では、東京オリンピックピックで現役・OBの活躍もありました。そして「駅伝」では、まず全日本大学駅伝で9大会ぶりの出場で見事8位となり、10年ぶりにシード権を獲得し「箱根」に向けて幸先の良い結果となりました。

本番の「箱根駅伝」では1区吉居君の快走でスタートし往路は6位、復路は5区、8区、9区の頑張りで総合6位となり10年振りのシード権を獲得することができました。2年後の100回大会が楽しみとなってきた感があります。

今年も沿道での応援はできませんでしたが、大学と学会会で「オンライン応援」の企画が急遽決まりこれに参加をしました。内容は本部がMCをつとめ、参加した支部・白門会が概ね通過時間帯に写真等の説明やPRをするようなことでしたが、初めてでもあり連携もありうまくいきました。やはり沿道で幟、小旗での応援が再開でき、大いに盛り上げられる日を迎えることが望ましく思えました。

ポストコロナをどうやって進めていくかですが、このコロナがいつ終息するのかまだよくわかりません。ワクチン・経口薬が行き届き、安心安全な生活ができるようになれば思い切った活動が可能になるわけで、早くそうなることを期待しているところでもあります。

そこで、かねてより課題である「会員の増強」についてですが、この2年間は入会者は殆ど無く、亡くなった方を含めた退会者はかなりの数となっております。本年は会員全員で募集のキャンペーンを実施していかねければと考えております。サークル活動を含めた会員相互の親睦交流も可能な限り進めてまいります。

そして藤沢白門会を益々充実させ、発展させていかなければと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。そして一日も早く活動ができて、皆様にお会いできることを楽しみにしております。



藤沢白門会 会長

片岡 久興

東京箱根間往復大学駅伝競走

駅伝応援

箱根駅伝を応援する会

城崎芳彦



©KGRR/Getsuriku

第98回 箱根駅伝予選会(10月23日)

中央大学駅伝応援サイト:陸上競技部提供

第98回箱根駅伝予選会について

10月23日(土)陸上自衛隊立川駐屯地でハーフマラソンのコースで41校が参加して上位10校が来年の1月2日、3日の本大会出場を決めました。1位明治大、2位中央大、3位日体大、4位山梨学院大、5位神奈川大でした。そして就任10年目で箱根駅伝初出場を決めた駿河台大の徳本監督(法政大OB)は日頃の朝夕の練習はもちろん選手の意識改革を行い、目標を持って出場しましたと語っていました。

10位以下は拓殖大、大東大、筑波大、上武大、城西大で、残念ながら本選の出場を逃しました。予選通過1位の明治大は1万メートルの記録に28分台が8人おり、我が中央大は5人で、予想通りでした。

2年生のエース吉居大和選手は終盤に両ふくらはぎがけいれんしたが粘り、全体で2位、個人ではチームトップの13位でゴールしました。唯、課題は1位と2位の差が4分16秒も有り、本選まで2ヶ月余りで、いかにして選手のレベルアップするかによると思います。

箱根駅伝とは

正式名称を東京箱根間往復大学駅伝競走といいます。関東学生陸上競技連盟の主催で1920年より毎年1月2日と翌3日の2日間に行われる駅伝競走です。現在開催されている駅伝の中で4番目に長い距離で競い合います。関東地方の大学駅伝の地方大会である為、関東にある大学のみが参加できます。

往路

第1区	大手町 - 鶴見	21.3 km
第2区	鶴見 - 戸塚	23.1 km
第3区	戸塚 - 平塚	21.4 km
第4区	平塚 - 小田原	20.9 km
第5区	小田原 - 箱根町	20.8 km

復路

第6区	箱根町 - 小田原	20.8 km
第7区	小田原 - 平塚	21.3 km
第8区	平塚 - 戸塚	21.4 km
第9区	戸塚 - 鶴見	23.1 km
第10区	鶴見 - 大手町	23.0 km

往復総距離
217.1 km



第98回箱根駅伝 中央大6位で10年ぶりシード権獲得



第98回 箱根駅伝 平塚中継所

第98回箱根駅伝大会はコロナ禍の中、関東学生陸上競技連盟より沿道での観戦は自粛してテレビ観戦で応援の要請がありました。我が中央大は1区エースの吉居選手が品川駅付近から抜け出し、区間新の1時間0分40秒で1位でした。2007年に佐藤悠基選手（東海大）が出した1時間1分6秒の記録を15年振りに更新し、最優秀選手（金栗杯）に選ばれました。

2区の鶴見中継所でタスキを受けた手島選手は、調子が上がらず記録も他の選手より悪くなり、戸塚中継所では15位まで順位が落ちてしまいました。3区の三浦選手は区間7位まで順位を上げ、平塚中継所で4区の中野選手にタスキを渡しました。

それから順位を一つ下げ8位で5区の小田原中継所で1年生の阿部選手に期待を込めてタスキを渡しました。5区では難関の山登りを挑み、なんとか6位で乗り切り、往路6位という結果で翌日の復路に期待が繋がりました。

6区若林選手は下りを上手く利用し、順位を一つ上げて5位、7区居田選手にタスキを渡しましたが、調子があがらず、区間タイム18位で7位まで順位を落としました。

地元8区では中澤選手が頑張り、3位まで引き上げ、9区の湯浅選手も頑張って3位をキープし、10区を託されたキャプテン井上選手は、前半は調子よく走り続けたものの、後半バテて東洋大、東京国際大にも抜かれ、最終的に東京国際大に40秒の差で6位ゴールしました。選手の皆様お疲れ様でした。

今回下級生の健闘があり、来年の期待にかけたいと思います。

藤原監督は再来年の第100回大会で優勝を目指すとの事で大いに期待しております。

第98回箱根駅伝 中央大学陸上競技部 結果

総合成績 6位 10時間55分44秒

往路成績 6位 5時間26分26秒

1区 吉居 大和 (2年)	60分40秒	区間1位	区間新記録
2区 手島 駿 (4年)	68分52秒	区間15位	
3区 三浦 拓朗 (4年)	62分38秒	区間7位	
4区 中野 翔太 (2年)	62分17秒	区間5位	
5区 阿部 陽樹 (1年)	71分58秒	区間6位	

復路成績 8位 5時間29分19秒

6区 若林 陽大 (3年)	58分48秒	区間5位	
7区 居田 優太 (2年)	65分49秒	区間18位	
8区 中澤 雄大 (3年)	65分02秒	区間3位	
9区 湯浅 仁 (2年)	68分31秒	区間3位	
10区 井上 大輝 (4年)	71分09秒	区間17位	



第98回 箱根駅伝 1区 吉居

ゴルフサークル同好会



気合十分のスタート前集合写真

ゴルフは楽しく、楽に、楽に

こんにちは、藤沢白門会ゴルフサークル同好会です！(^^)！平成9年11月6日に最初のコンペを開催して以来、その回数は34回になりました。初心者・上級者関係なく、中大の旗のもと、ゴルフ好きの仲間同志が懇親を深めています。ゴルフコンペのときに参加費が必要ですが、それ以外特に会費は要りませんので、お気軽にお入りください。特に初心者大歓迎！！上達のお力添えもいたしますよ。

ゴルフサークル幹事

川俣 誠 市川 優 小林 智己

白門サロン会

白門サロン会は第1回会合を平成9年7月29日に「銀座アスター藤沢店」にて開催後、コロナ禍直前の令和2年2月24日の「藤沢bistro ハンバーグ店」での例会まで、通算60回の懇親を重ねることが出来ました。現在は約40名の会員が登録されていますが、食べること、飲むこと、しゃべることがお好きな方の入会をお待ちしております。

白門サロン会幹事

林 孝靖



藤沢bistroハンバーグ

テニスサークル



テニスサークルでは藤沢市内のテニスコートを毎回2時間借りまして、前半を練習を兼ねたフリーの打ち込み、後半にダブルスゲームを行っています。和気あいあいとした雰囲気の中で経験が浅い方も本格的に取り組んでいる方も楽しむことができます。

コロナ禍前は年に2、3回開催しておりました。来年以降に再開を目論んでおりますので日程が決定しましたらお知らせ致します。ご興味のある方のご参加をお待ちしております。

テニスサークル幹事

重田 博章

ワインサークル



ワインサークルは基本的に自由な会です。

例えば、持ち込み可能なお店で参加者が各自自分の気に入ったワインを持ち寄りみんなでテイastingをしながら料理を楽しんだり、料理とワインの珍しい組み合わせをみんなで試してみたりというような会を楽しんでいます。

自分の好みのワインやコスパが高いおすすめワイン、少しお高めだけど記念日に飲んでみたいワイン。。

参加者みなさんの情報を交換しながらワインを楽しく飲んでいます。

今後はソムリエによるワイン講習等も出来ればなと思っています。

是非皆様のご参加よろしくお願いいたします。

ワインサークル幹事

西尾 雄一郎

釣りサークル

皆様、こんにちは。釣りサークルです。

コロナ禍ではありますが、釣りを楽しんでみませんか。

サークルでは現在、船釣りを主に催行しています。年4回から5回開催しています。

大磯漁港を船宿にしています。獲物は、鰹・イナダ・サワラ・甘鯛・カツオなど、時に今話題の「相模湾キハダマグロ」です。

道具やエサ、氷など借りられますので、手ぶらで参加できます。(お弁当だけは用意してください。)

釣ってその日に食べる魚は最高です。銀座や赤坂でも食べられません。なぜなら、絞めて数時間後に食す訳ですから。釣り人特権。

魚が捌けない方は、船中で捌きます。ご安心ください。

乗合船ではなく、貸切船です。白門だけですから。糸が絡まっても大丈夫です。ご安心を。たまにSUCのメンバーも参加しますが、是非ともご参加下さい。

釣りサークル幹事

大沼 敬正



音楽鑑賞サークル

皆様、我々音楽鑑賞サークルでは、年に数度「パルテノン多摩」を始めとした大会場に参集し、中央大学音楽研究会「スウィング・クリスタル・オーケストラ」、またフルオーケストラのクラシック演奏会などを楽しんでおります。

残念ながら現在はコロナ禍により活動が制限されておりますが、いずれまた皆様と御一緒に素晴らしい演奏に身を任せる、そんな贅沢な一時を共有出来るようになることを楽しみにしております。

音楽鑑賞サークル幹事

高橋 茂

伝統芸能鑑賞サークル

伝統芸能鑑賞サークルは令和2年度に立ち上げて、会員16名で発足しました。会の目的は主に白門出身の落語家や講談師を応援の為に公演会や寄席に行くことです。ただ、コロナ禍で公演会も開催されず、活動は現在開店休業の状態です。

ですがいずれは、その他、歌舞伎・謡曲の鑑賞も出来たら、と考えております。早くコロナ感染状況が収束し寄席や落語会に出かける事が出来て、更に藤沢白門会主催の落語会が開催出来たら最高でしょう。

伝統芸能鑑賞サークル幹事
深澤 宗一



2019年2月藤沢で開催の「林家つる子」落語会にて

旅行サークル



2006年2月創立10周年記念旅行での台北故宫博物院

旅行サークルでは今現在会員数は35名であり、創立10周年記念で台湾周遊4日間の旅行、1泊旅行では信州(上高地・松本)の旅、伊豆長岡温泉の旅、日帰り旅行は茨城の袋田の滝、河口湖湖畔巡り、横須賀の東京湾クルーズ等を実施しておりますが、ここ数年コロナ禍で旅行は実施しておりません。老若男女問わず、旅行に興味ある方、またアイデアを提供してくれる方、入会を希望しております。

旅行サークル幹事
城崎 芳彦

緑と歴史散歩サークル

ようこそ緑と歴史散歩サークルへ。

かまくらや

御ほとけなれど釈迦牟尼は
美男におはす夏木立ちかな
～与謝野晶子

鎌倉、藤沢などの史跡、海辺や川べりの散策を通して身体と頭をリフレッシュしませんか。シニアの皆さんや若手の積極的な参加をお待ちしております。

緑と歴史散歩サークル幹事
澤田 英樹



大磯散策 吉田茂郎

文芸・文化コーナー

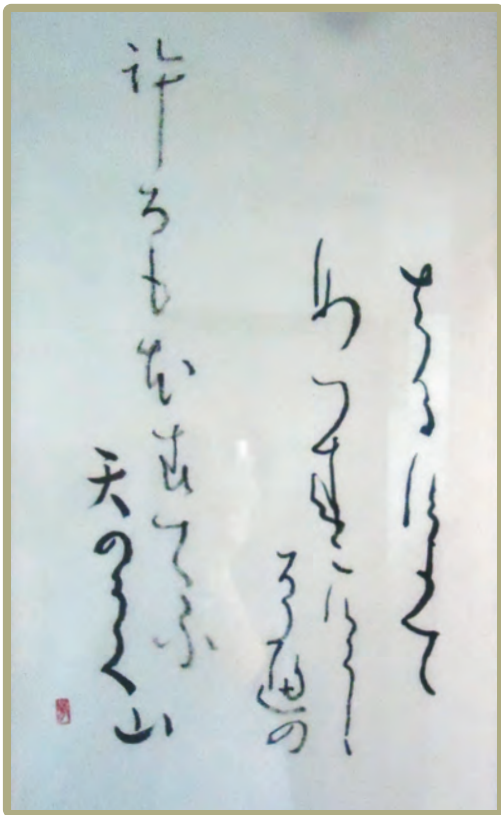
俳句、絵、書道、その他創作をしていらっしゃる方々におきましては、毎年一回発行の会報へ掲載し、活動をご報告させていただいております。お気軽に作品をお持ちよりください。



昭和41年経済学部卒 石原 昭憲
絵手紙



昭和41年経済学部卒 石原 昭憲
絵手紙



春すぎて 夏来にけらし 白妙の
ころもほすてふ 天の香具山
昭和44年経済学部卒 城崎 芳彦
書道（小倉百人一首 持統天皇）



昭和44年経済学部卒 城崎 芳彦
色鉛筆画（金沢城・石川門）



2021年4月から6月の第4波、7月から9月の第5波と、コロナウイルスの感染拡大は収まる気配を見せず、11月末には、新たな変異ウイルスであるオミクロン株が南アフリカで発生し、ひととき感染力の強いこのウイルスは瞬く間に全世界を席捲した。日本でも1月初めから徐々に感染者が増え、2月には一日の感染者数が10万人を超えた。

コロナの影響下ではあったが、1年遅れでようやく2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、藤沢市が会場となったセイリング競技をはじめ、各競技において熱戦が繰り広げられた。

わが藤沢白門会でも、ほぼすべての活動を休止せざるをえなかった。4月の定期総会、8月の地引網大会、1月の新春のつどいなど、全会員を対象とする行事はことごとく開催不能となったほか、常任役員会や顧問会も開催で

きず、辛うじて幹部会を4回開催した程度に終わった。各サークル同好会の活動も、ワイン会幹事打合せ、ゴルフ同好会幹事打合せなど、ごくわずかな動きはあったものの、ほぼ活動不全状態となった。

こうした中で、幹部会をZOOMを使って2回開催したこと、中央大学が企画した箱根駅伝のオンライン応援にゲスト出演したことなど、ウイズコロナの時代に即した新たな方法を模索した年度でもあった。

また、平成12年から続けている藤沢市への車椅子寄贈について、本年度も2台を寄贈することができた。(写真参照) 寄贈台数は累計で37台となった。

更に、昨年度創立25周年記念事業がコロナウイルスの影響により開催できなかったことから、その事業費残額を中央大学の発展のために、「白門飛躍募金」へ寄付したことをご報告したい。

さて、来年度の事業については、2022年4月24日(日)に定期総会、8月20日(土)に地引網大会、2023年1月29日(日)に新春のつどいと、3事業が予定されているので、コロナの状況にもよるがご予定いただきたい。

来年度は、本会活動が復活するよう祈念して、令和3年度の総括としたい。

事務局長

川俣 誠

編集後記

令和3年度も、藤沢白門会は何もこれといった活動のできない歯がゆい思いのする1年でした。デルタ株が収束してやれやれ思っていたら、今度はオミクロン株が蔓延してきました。この編集後記を書いている今も、神奈川県には蔓延防止措置が出されています。

そういうわけで、会報26号はA4版のタブロイド判にさせていただきましたことをご許してください。記事内容がやや薄くなってしまいましたが、それなりに(無い知恵を絞り出して)努力いたしました。

本誌の発行にあたり、原稿を投稿して頂いた会員のみなさま方をはじめ、多大なご協力を頂きました多くの方々に対し、末筆ながらこの場を借りて、心より御礼申し上げます。

なお今回の会報が26号になっていることに気づかれた会員様もいると思います。昨年度の記念誌は、内容的に普通の会報内容を含んでいますので、記念誌兼会報と数えさせていただきます、今回を26号とさせていただきますことをご了解ください。

<ヨッシー>



中央大学
CHUO UNIVERSITY

中央大学学員会 藤沢白門会

発行：中央大学学員会藤沢支部 藤沢白門会 会長 片岡久興
〒251-0032 藤沢市片瀬 4-4-15 電話・FAX 0466-26-8402

編集：会報委員会

印刷：社会福祉法人 光友会 神奈川ワークショップ
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008 電話 0466-48-1503 FAX 0466-48-1504